

見所その4

枯死した植生

近年、黒倉山山頂から姥倉山の尾根にかけての地熱活動が活発化しています。この変化に伴って火山ガスの発生量が上昇したことにより、尾根沿いの植生が枯死し、山腹の地面がむき出しになっています。これらは岩手山の火山活動が今でも活発であることを示しているものの、岩手山の全ての山の火山活動は注意深く監視されているので、警戒する必要はありません。

キャプション： 地形の黄色の部分は、植生が枯死した地域です。